

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和8年2月9日

法人名	(福)三宝会 理事長 岡田泰稔	代表者	紫雲の園 施設長 岡田昌孝	法人・ 事業所 の特徴	昭和53年社会福祉法人三宝会設立。保育事業と介護事業を運営し、「大慈愛心」の法人理念のもとで地域の福祉に取り組んでいる。「ひなた」においては、「ともに笑って、ともに歩んで」の介護理念を掲げ、利用者の在宅での生活やご家族の介護の一助となるように柔軟にサービスを組み合わせて臨機応変な対応を実践する。
事業所名	ひなた	管理者	柞木 晃		

出席(参加)者	市職員	知見を有する者	地域住民・団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	0 人	2 人	0 人	2 人	1 人	1 人	15 人	0 人	22 人

評価項目	評価	職員による自己評価	外部の方(職員以外の方)からのご意見	来年度の目標
事業所・職員としての資質	良	<ul style="list-style-type: none"> 誰に対しても気持ちの良い挨拶をしている 清潔感があり相手に不快感の無い身だしなみができてい 時間厳守・期日厳守を実践している 公私の区別をきちんとつけて業務にあたっている 次に使う人や自分以外の方が業務を行いやすいように配慮している 職員との相互理解に努め、信頼関係を築き協力して業務を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員で事業所評価に散り組んでいる事が確認できた 居心地の良い空間になっているように感じた 事業所内に不快な音や臭い等は感じなかった 	<ul style="list-style-type: none"> いつも笑顔をやささない明るい施設運営に取り組む 職員同士の情報共有を密に行え連携の図れる施設を目指す 業務の効率化を図り働きやすい環境を目指す 外部評価の意見が事業運営に反映できるように職員間で共有する
	悪	<ul style="list-style-type: none"> 記録は端的に漏れる事無く読みやすい字で書いている 職員間で良い所を見つけたりアドバイスし合える関係性作りをしている 	<ul style="list-style-type: none"> 前回の改善計画が具体的な取り組みが行われたか、また今回の改善が必要な点に改善計画が具体的に立てられたかわからない 	

評価項目	評価	職員による自己評価	外部の方(職員以外の方)からのご意見	来年度の目標
介護福祉サービスの専門性	良	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者について詮索したり部外者に話を漏らしていない 個人情報の取扱いに注意している ・入浴や排泄ケアはプライバシーに配慮し精神的に負担を掛けないように素早く行っている ・感染症や施設内感染に注意している ・汚れや匂いにも配慮したケアをしている ・利用者の私物は勿論、施設備品も丁寧に扱っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は挨拶ができています ・何か困りごとや相談があった場合には事業所に相談しやすい場所となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や家族のニーズを把握し寄り添った介護が実現できる体制づくりを目指す ・施設内の環境が利用者にとって居心地の良い空間であるよう考える場を作っていきたい ・内部研修、外部研修の継続で福祉の仕事をする職員としてふさわしい知識・技術の習得を図る ・介護福祉士の取得者を増やす ・職員が積極的に地域へ出ていく取り組みを心掛ける
	悪	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の嗜好を理解し満足のいくサービスを提供している ・ミーティングやカンファでは積極的に発言し実践した関わりを次の対応に活かしている ・利用者の気持ちや声にならない声をチームで言語化できている ・知識、技術を向上させる為の研修に参加したり習得した知識を業務に役立てている ・利用者の活動意欲を引き出し、個性を生かすような援助をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の職員が地域の行事やイベントに参加しているか判らない 	

小規模多機能サービスの特性	良	<ul style="list-style-type: none"> ・「泊り」「通い」「訪問」を組み合わせ一人一人のニーズに合わせたサービスを提供している ・その日その時の利用者の状態、ニーズに合わせて、柔軟な対応ができている ・送迎や訪問時、外出先でも気持ちの良い挨拶を心掛け礼儀を重んじた行動をしている ・ご近所の方や来客者等へも挨拶したり外出先でも事業所職員として節度ある行動をしている ・夜間や訪問先で急変が発生した場合でも落ち着いて行動できる ・訪問中は利用者の様子や環境の変化にも注意し臨機応変な対応をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を外に連れ出す取り組みを行っていると感じる ・利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われているようだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員内においても小規模多機能の特性を理解できていない職員もいるのが現実。再度理解を促す事が必要と考えている。内部研修の実施で特性の理解を行ったうえで業務に就いていけるようにする ・小規模多機能の特性について広く周知できるような取り組みを継続する ・利用者を連れて地域の行事やイベントに参加できるように支援する
	悪	<ul style="list-style-type: none"> ・「通い」の際は利用者の方に楽しんでもらえるように、多彩なメニュー作りをしている ・リハビリやADL向上に繋がるような支援をしている ・防災訓練を行ったり、地震、火災、風水害など有事の時の備えができている ・利用日では無い利用者の事も気に掛けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が地域の行事やイベントに参加しているか判らない 	

評価項目	評価	職員による自己評価	外部の方(職員以外の方)からのご意見	来年度の目標
地域密着型サービスとして	良	<p>ボランティアや慰問の受け入れなど、事業所と地域の方が接する機会がある</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体や包括支援センター、その他のサービス機関(医療・福祉用具等)と関わりを持ち支援している 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時、事業所は頼りになると思っている 継続して防災訓練・避難訓練は行って欲しい 運営推進会議では事業所の取り組みが判りやすく説明されていた 	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた施設として地域の方が気軽に立ち寄り相談できる場にしていく 地域活動の把握、情報収集を行って地域へ出向く取り組みを取り入れる ボランティア活動や慰問の受け入れを積極的に行っていく 地域と事業所が連携して防災に取り組むことができるように構築する
	悪	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事や活動に参加したり、地域との関係が切れないように支援している 地域の防災訓練に参加したり災害時の地域との連携、協力体制作りを進めている 地域住民や子供等が事業所を訪れたり困り事等があった場合、相談しやすい場所となっている 利用者以外の地域の高齢者や、支援の必要な方にも目を向けている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も運営推進会議ででた意見を改善に繋げて欲しい 地域の防災訓練参加や地域の方が事業所の防災訓練に参加できる取り組みが必要 	